

**地域資源活用・地域連携都道府県サポート業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和7年4月7日（月）13時00分から15時00分まで
2	場 所	広島県庁本館 601 会議室
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産局農水産振興担当部長 ・農林水産局販売・連携推進課長 ・農林水産局農業経営課長 ・農林水産局畜産課長 ・農林水産局水産課長（代理） ・商工労働局中小企業支援課長
4	議 題	企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	農林水産局 販売・連携推進課
6	開催方法	参集、zoom（併用）
7	議事内容	<p>提案された企画提案を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位かつ評価基準に基づく各評価項目の配点の合計が100分の60以上の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>1 提案者（最優秀提案者：◎） A者：株式会社パソナ農援隊 B者：しんきん地域創生ネットワーク株式会社（◎）</p> <p>2 各委員の主な評価・選定理由</p> <p>【A者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や他県で同様事業の受託実績があるのは心強い。 ・全国での実績や専門家のネットワークがある点が評価できる。 ・支援の初回から終了に向け、支援内容を整理して計画しており、事業の評価体制が示されている。全国700名以上の専門家による実績は魅力的である。 ・サポート体制が充実している。 ・中央サポートセンターとの連携がある点が評価できる。 ・県域を越えた事業の可能性について、サポートできるものと期待する。 ・自社の強みを活かした、地域資源活用による市場開拓等が期待できる。 ・人材育成研修会について、研修内容が充実している。 ・支援の初回から終了に向け、支援内容を整理して計画しており、事業の評価体制を示している。しかしながら、事業者の確保策には普及員では本県では解決しない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい視点で広島県を見るという点は良いと思う反面、事業者や地域ニーズの情報確保部分の対応説明が不足しているように感じた。 ・支援事業者10事業者の確保については、対応策を説明していたが、事業者の確保には不安が残る。 <p>【B者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用金庫等のネットワークを通じて事業者を集めることが可能である。 ・国や県の事業の受託実績があるのは心強いが、同様事業ではないため関連性であればA者には劣る。 ・人材育成研修会での研修内容について、地元の実態は一定程度、把握されていると思われる。 ・人材育成研修会について、農林水産事業者の課題等に沿った支援テーマを設定した取組になっていることを評価する。 ・過去の実績について、本県との関わりがあり、地域の実態にあった取組が期待できる。 ・支援事業者に寄り添った支援体制の構築により効果のある支援が期待できる。 ・応援登録制度との支援の相乗効果が期待できる。 ・販路拡大や資金管理に強みがある一方で、様々な地域課題に対応可能かどうかについて、プレゼンテーションでは判断が難しかった。実績について、事例の具体的な内容紹介があればもっと理解が深まった。 ・経験と実績について、説明を聞いても具体性がなく、成果や苦勞した点がにじみ出てこない。 ・農林水産事業者の経営改善戦略の策定実績に不安が感じられる。
--	---